

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

基準年月日 令和2年8月1日

Table with 4 columns: 調書番号 (08-14), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局砂防災害担当課長 松田 哲夫), 担当係 (砂防係(内) 29-401)

I 基本事項(基準日時点)

Table with 4 columns: 事業種別 (通常砂防事業費(社会資本整備総合交付金)), 地区名 (トマチャナイ川), 市町村名 (新冠町), 事業費 (3,085百万円), 負担割合 (国 50%, 道 50%, 市町村, その他)

Table with 2 columns: 事業目的・目標 (土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などをを守るため、砂防設備の整備を行う。), 事業概要 (トマチャナイ川通常砂防事業は、土砂災害から人家や公共施設などの保全対象を守るため、砂防設備(砂防堰堤工、床固工、渓流保全工)の整備を行うものである。), 工事費内訳 (【計画】砂防堰堤工、床固工、渓流保全工)

Table with 2 columns: 総合計画での位置付け (総合計画:中項目 大規模自然災害対策の推進, 総合計画:小項目 大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服), 実施名 (大規模自然災害対策の推進), 実施内容 (強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮)

II 公共事業評価経過

Table with 10 columns: 事業採択, 着手, 評価年度, 完了予定, 経過年数, 総事業費(a), 道負担額, 当該年度事業費, 累積事業費(b), 進捗率(b)/(a)

変更理由・内容 事業費の変更及び事業期間の延伸 (1)地すべり対策の調査及び対策工の追加などによる (2)土砂搬出運搬距離の変更などによる (3)残事業量により事業期間を精査したことによる

III 事業採択前の状況

Table with 2 columns: 1. 事業採択に至る経過と背景 (H18年(2006年)8月の豪雨出水により、流域内が荒廃したため、土砂災害の危険性が非常に高い), 2. 事業検討の経緯 (H21年(2009年)10月 新冠町から整備要請), 3. 事業効果を及ぼす地域・対象 (新冠町東地区 人家19戸、避難場所、消防署、駐在所、町道1.4km(橋梁2基)、耕作地31.6ha)

Table with 5 columns: 事業名, 事業主体, 事業期間, 事業費(百万円), 事業内容

IV 事業の実施状況

Table with 11 columns: (1) 事業実績及び今後の計画 (施工(工種)区分, 工事内容, H22~29, R1, 進捗状況, 事業費(百万円))

(2) 進捗状況 砂防堰堤工が完了しているほか、床固工が16基完了。地すべり対策の追加などにより事業期間を延伸したが、今後の実施に当たっては、特に大きな支障となるものはない。

a a:概ね予定どおり実施している。 b:事業計画(期間)等を変更し実施する。 c:問題が生じ、実施に支障をきたしている。

Table with 4 columns: 経済効果の内訳(百万円), 費用の内訳(百万円), B/C, 備考 (「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省 R2)「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 H24年3月)に基づき算出。)

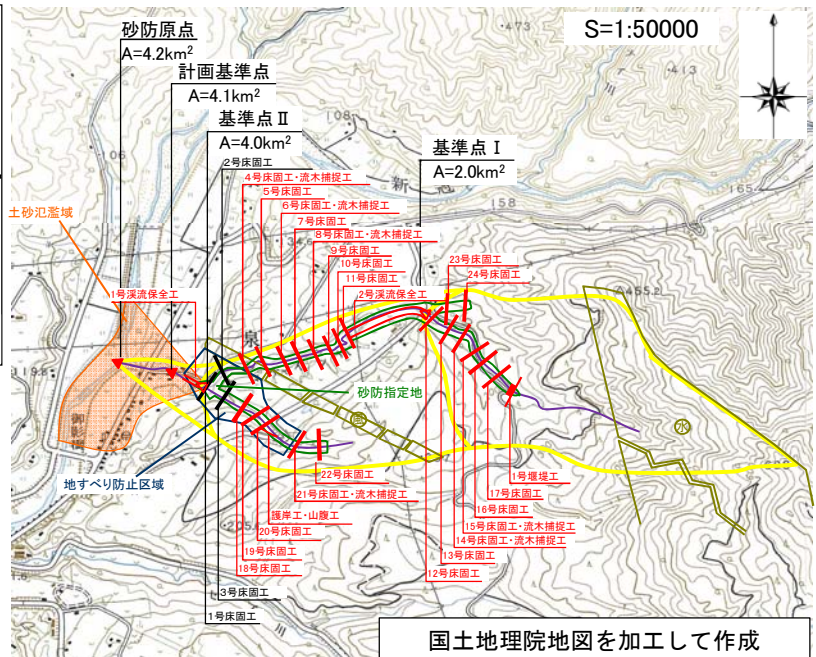
Table with 3 columns: 取組の項目, 取組の内容, 縮減額(百万円) (資源循環の促進 3)

V 評価							
1. 必要性	●本事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産を守ることが目的であり、その事業効果大きい。また、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高いことから、事業の必要性に変化はなく、事業を継続して推進する。						
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。					
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●環境調査により発見された希少種を移植などにより保全を実施。 ●法覆工に現地発生するすき取り土を有効活用することで、在来種による緑化を促し、自然環境に配慮している。						
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●新冠町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。						
	(3) その他の課題 ●特になし。						
3. 事業達成の見込み	現状では事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。						
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。					
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、新冠町から早期完成要望も受けているため、R5年度（2023年度）の完成を目指し、事業継続する。						
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止					
	事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無
VI 備考							
1. 評価履歴	再評価：平成27年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：4.05						
	2. その他の取組事項						

補足資料

VII 事業計画変更												
事業期間	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
								事前評価又は当初	H22 (2010)	H24 (2012)	H26 (2014)	
変更①		H24 (2012)	H25 (2013)	H31 (2019)			1,673	837				
変更②	1回目	H24 (2012)	H27 (2015)	H31 (2019)			1,849	925				
変更③		H24 (2012)	H28 (2016)	H35 (2023)			2,832	1,416				
変更④	2回目	H24 (2012)	R2 (2020)	R5 (2023)			3,085	1,543	287	2,622	85%	
変更⑤												
変更⑥												
変更⑦												
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩						10						
変更理由・内容		変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸 地すべり対策の調査及び対策工の追加、土砂搬出運搬距離の変更による。 変更②：事業費の変更 資材、労務単価が上昇したこと及び消費税率の変更による。 変更③：事業費の変更及び事業期間の延伸 地すべり対策の調査及び対策工の追加などによる。 残事業量により事業期間を精査したことによる。 変更④：事業費の変更 土砂搬出運搬距離の変更などによる。										

トマチャナイ川 通常砂防事業（社会資本整備総合交付金）



凡 例	
	流域界
	新規砂防堰堤工
	新規床固工
	既設床固工
	溪流保全工
	溪流

事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- H18年（2006年）8月の豪雨出水により、流域内が荒廃したため、次期出水により下流域への土砂流出が懸念される。
- 砂防堰堤工、床固工、溪流保全工の整備を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的

事業概要

トマチャナイ川通常砂防事業は、土砂災害から人家や公共施設などの保全対象を守るため、砂防設備（砂防堰堤工、床固工、溪流保全工）の整備を行うものである。

